

09年10月8日 州警察ニュース

JSS 和訳

州警察は、生命を守る全国安全運転運動「Operation Impact」に参加する

州警察は毎年カナダ全土で進められる、カナダの道路を世界一安全なものにする安全運転運動である「Operation Impact」の準備を進めている。「Operation Impact」は、10月9日金曜日から12日火曜日の、サンクスギビングの長い週末を通じて進められる。

「Operation Impact」は取締りを主体とした交通関係の活動であり、人々の安全運転に関する、関心を高め、励行を促すことによって生命を救おうというものである。州警察は「Operation Impact」で、酒酔いしないしは酒気帯び運転、無謀運転および安全ベルトないしは補助椅子の使用に焦点を絞る。一方この運動を通じて、安全な運転の重要性に関する認識を広め、人々の関心を高める。

州警察はこの週末、通常パトロールする道路のほか水路ないしはトレールも、可能な限りの手段を活用して巡邏する。又第一線の警官を補助し、無謀運転ないしは制限速度違反摘発のため2台の航空機を用いる。

Julian Fantino 州警察長官は、「愛する者を交通事故で失う悲劇は多くの人々の心を痛める。今年のこの週末、州警察管内で9人の人が、失うべきでない命を交通事故で失った。今年は、我々の道路を出来る限り安全なものとするという州警察の係官の目的達成のために、人々が安全運転を励行してくれる必要がある。

。」と語っている。

この週末は、夏のドライブシーズン最後の長い週末であり、コテージに出かけたり、家族を訪ねたりで、伝統的に州内の自動車道路が最も混雑する。州警察の交通安全担当 Larry Beechey 副長官は、「州内の州警察係官は、人々の目に付きやすいように行動し、一方危険な運転は容赦しない。」と語っている。

自動車道路安全部の司令、Bill Grodzinski 主任警視は、「Operation Impact は、全国警察署長会議、連邦運輸省が支持し、2010年にカナダの道路を世界一安全なものにするという Road Safety Vision 2010 の一部をなすものである。又この運動は、州警察の交通安全活動の一部でもある。交通取締りの基幹部分は、我々の道路やトレール、水路上で生命を守り、重傷の発生を減少させる事にある。」と語っている。

JSS 説明

発砲事件や盗み、詐欺とは異なり交通事故は、加害者が必ずしも被害者に被害を与える意図がなくても起こるものであり、かつ被害が甚大である場合が少なくない。だからといって交通事故の加害者に、特に無謀運転、ないしは酒酔いなど運転には不適切な状態で運転したことによる場合、弁解の余地はない。又、ベルト不着用が原因と見られる死亡事故を見聞きした時、死亡者の不幸はもとより、周囲の悲嘆を思ってきたら複雑な気持ちになる。

特に当地のように、自動車の利用は殆ど避けられない自動車社会にあって、被害者はもとより、加害者にならない努力を惜しんではならない。昔日本で、「車は走る凶器」

という交通安全標語が使われたが、自動車を扱うものがその意識を持ち、一方で歩行者ないしは運転者以外の利用者もその意識を持って自動車を捉えることが必要ではなかろうか。

因みにトロントでは、2008年には警察が把握した自動車事故が56,612起きており、うち死亡被害者は54名、負傷を伴う事故は15,793件であった。本年これまでに28人が死亡している。